



長崎県まぐろ養殖協議会会長
勝栄水産 社長

あんどう しょうへい
安藤 翔平さん

世界に誇るマグロを養殖

水産物の消費拡大や地元の活性化を図る取り組み「長崎県『**お うお** 推し魚』プロジェクト」第1号に選ばれた、新上五島町の養殖クロマグロ。県まぐろ養殖協議会会長の安藤翔平さんは、養殖が盛んな新上五島町でクロマグロを育てています。

◆**無我夢中で信頼獲得**
安藤さんは、ブリやヒラスの養殖を手がける「勝栄水産」の創業者の孫として長崎市に生まれ、4歳のとき、新上五島町に移り住み、豊かな自然に囲まれて育ちました。長崎市内の高校、大阪の大学を経て、大阪の金融機関に勤め、充実した日々を過ごしていましたが、20代半ばのころ、「帰ってきたい」と両親に言われたことや、勝栄水産で働いていた弟が気がかりになり、Uターンを決意しました。新上五島町に戻った当初は、「小さい頃に手伝った経験もなく、分からないことばかりのスタートだった」と振り返ります。それでも、自分自身が家業を継ぐため、従業員の信頼を得ようと懸命に努力し、養殖の技術を一つ一つ身に付けていきました。

◆**日々の観察が基本**
勝栄水産には直径20センチほどのいけすが複数あり、それぞれ約400〜500匹を養殖しています。ヨコワと呼ばれる約2歳の幼魚を3年ほどかけて約60匹まで育てます。安藤さんは「魚を毎日よく見て、変化にいち早く気付く目を養うことが養殖の基本です」と力を

を込めます。動きや体表の色、餌の食べ方や量など細部を観察し、異変があれば、餌の量や与える時間帯、給餌時間の長さを調整します。「マグロや海、気温、天気などの自然が相手です。日々変わる状況の管理がとて難しく、一日も気が抜けない繊細な仕事です」と表情を引き締めます。

◆**「推し魚」も後押し**
新上五島町に戻り約8年。安藤さんは、ふるさとの魅力を再発見したと言います。いけすを設置している若松瀬戸は潮の流れが速く、海水が絶えず入れ替わり、透明度が高く、水温も安定していると分析。「赤潮がほとんど発生せず、日本一の養殖の漁場だと思う」と胸を張ります。

各地のバイヤーからも高い評価を受けており、「推し魚」に選ばれたことで注目度も高まっています。「新上五島町はもちろん、長崎県産の養殖クロマグロが一番品質が良いというイメージを世界に定着させたい。生産者として大切なことは、『おいしいマグロを作る』という原点に帰ること」と語ります。

そのことが島の活気に少しでもつながることを願い、高品質なクロマグロを育てています。

お出かけスポット

雨の日でもOK 屋内遊戯場

こども未来交流センター「きらり」

2025年4月、旧今里小学校を改修して開設された「きらり」は、子育て支援と屋内遊戯の機能を兼ね備えた新上五島町の施設です。

旧体育館を活用した「オーシャンエリア」には、大きなクジラがモチーフのトランポリンやネットタワー、スライダーなどを整備。天候を気にせず伸び伸びと体を動かせます。保育士が常駐する乳幼児エリアもあり、町民の育児相談などにも応じています。

観光や帰省で訪れた家族も利用可能。子どもたちの笑顔があふれ、地域の新たな憩いの場として親しまれています。

ところ 南松浦郡新上五島町今里郷245-9
営業 9:00～16:30 木曜定休
(祝日の場合は翌日休)
料金 オーシャンエリア:小学生以上200円
(未就学児・他エリア無料)
☎ 0959-52-2890



イベント

五島うどん
フエスタ
あげろー！

10月17、18日、有川郷の「五島うどんの里」で初めて開催されます。五島、稲庭、さぬき、伊勢といった全国のうどん食べ比べや、手延べうどんの製造体験、だしに使用されるアゴ焼きを実演。物産展もあり、町内で育まれた「豊かな食」を満喫できます。



絶景

やがため
矢堅目公園

新上五島町を代表する景勝地。海からの侵入者を防ぐ見張り所(矢を堅めた場所)だった歴史が名の由来です。円すい形の奇岩「矢堅目岩」は「トトロ岩」とも呼ばれ、東シナ海を望む大パノラマが広がります。水平線へ沈む美しい夕日を楽しめるスポットです。

表紙のコト

奈良尾のアコウ



奈良尾地区の皆さん

奈良尾神社の参道にある国指定天然記念物、アコウの樹。推定樹齢は約670年で、根本が二股に分かれ、自然の鳥居を形づくっています。幹の回りは約12㍍、高さは約25㍍に及びます。全国に240本程度あるアコウの大樹で日本一の大きさを誇ると言われています。宮司の吉田貴徳さんは「地域の人が清掃活動などに取り組み、きれいに保たれています。町民に愛され、自然の参道をつくる珍しい大樹をぜひ見に来てください」と話します。

ところ 南松浦郡新上五島町
奈良尾郷334-2
☎ 0959-44-0323
(奈良尾神社)

島の恵みを生かした基礎化粧品

お土産

ブルーサイエンティフィック新上五島(BSCI)

旧北魚目中学校の校舎を活用し、海洋由来の微細藻類を生産するバイオベンチャーです。肌を整える抽出成分「フコキサンチン」と五島列島産のつばき油の2つの島の恵みを配合した「FX Serum」や「FX Cream」などを展開しています。肌にうるおいとハリを与えます。



「FX Cream」(左)と「FX Serum」

ところ 南松浦郡新上五島町小串郷770
営業 9:00～17:00
土曜、日曜、祝日定休
☎ 0959-42-5135

※町内物産直売所やJR長崎駅かもめ市場などで販売しています。



広報担当の大渡綱代さん

「地獄炊き」が人気 五島うどん

グルメ

竹酔亭

遣唐使によって伝わったとされ、日本三大うどんの一つである「五島うどん」。町内初の専門店として1988年に創業した同店では、風味豊かなあごだしとつるりとした喉ごしの良い細麺が味わえます。熱々の麺を鍋から直接すくい、溶き卵やつゆと絡めて食べる島ならではの「地獄炊き」は、訪れる観光客に人気です。



五島うどんの「地獄炊き」

ところ 南松浦郡新上五島町七目郷56-1
営業 10:30～14:00(土日祝は14:30まで)
年中無休(正月三が日のぞく)
☎ 0959-42-0650



店長の立木京子さん